

平成19年度 幸区協働推進事業計画（案）

No		事業名	事業概要	主旨・目的
1 区民との協働による区づくりを目指して				
1	継続	まちづくり推進事業 （地域振興課）	幸区のまちづくりに係る課題を発掘して、問題解決のため討議、実践を行う。第4期まちづくり推進委員会をスタートする。	区民が自らの地域について話し合い、具体的な取組を協議し、実践することで、身近な地域のまちづくりを進める。
2	継続	市民活動支援事業 （地域振興課）	河原町団地内に開設した「幸市民協働プラザ」の運営管理及び、区役所において、印刷機などの貸出し、インターネット接続用パソコン・展示スペースの貸出しを行う。	作業スペース、作業用具の利用を提供することなどにより、地域での様々の活動を支援する。
3	継続	幸市民協働プラザ発信事業 （地域振興課）	地域交流フォーラムの開催、さいわいたウンカフェニュース発行、ボランティアの育成事業を行う。	「幸市民協働プラザ」を拠点に、地域における様々な活動を支援するとともに、地域の課題解決のための取組を推進する。
4	継続	シニア地域活動推進事業 （地域振興課）	原則として50歳以上で地域活動やITを活用することに意欲のある区民を対象に、パソコンの講座を実施する。受講者は、ITや講習会のネットワークを利用して、パソコン相談、訪問サポート等の地域活動を行う。	高齢になっても社会とつながりあえる区づくり・地域づくりを推進する。シニア世代を対象として、ITに親しんでもらうとともに、ITを使った地域活動への参加や様々な情報収集等、シニア活動の活性化につなげる。
2 豊かな心を育む地域文化の向上を目指して				
5	継続	音楽のまち推進事業 （地域振興課）	区役所庁舎内等での定期的なミニコンサートや区内の出張コンサートを行い、来庁者をはじめ、より多くの方に音楽に親しんでもらう。区民の実行委員会により企画、実施する。	区民が気軽に音楽に親しめる機会を提供する。音楽を通して幸区の魅力づくり、自分の暮らすまちへの親しみを育む一助とする。
6	新規	夢こんさぁと10周年記念事業 （地域振興課）	平成9年から開催されている夢こんさぁとが、平成19年9月で10周年を迎えるので、これを記念して、ミュージア川崎シンフォニーホールにおいて記念コンサートを行う。	区民が気軽に音楽に親しめる機会を提供するとともに、定例のコンサート時間帯とは異なる金曜日の夜に開催することで、区役所等でのコンサートには来ることができない人へも夢こんさぁとの魅力を伝え、「音楽のまち」としての発信を行う。
7	継続	さいわい街かどコンサート事業 （地域振興課）	幸区のシンボルともいえるミュージア川崎のゲートプラザをはじめ、幸区の多くの方が集まる場所などを会場として、フリーコンサートを年4回実施する。	ストリートミュージックなど若い層を中心とした演奏者によるフリーコンサートを行い、だれもが気軽に音楽を楽しめる環境づくりを行う。
8	新規	さいわい区民音楽祭事業 （地域振興課）	市民館等で活動している音楽サークルや企業内の音楽サークルなどを出演者とするコンサートを開催し、広く区民に区内の音楽活動に親しんでもらう。	区内の音楽愛好家に演奏の機会を提供し、併せて区民に気軽に音楽に親しむ機会を提供する。また、これを契機として音楽を通じた横のつながりの構築、演奏機会の自主企画を目指し、音楽のまち川崎の広がりの一助とする。
9	継続	さいわいテクノ塾事業 （地域振興課）	青少年を対象に東芝科学館などでロボット教室等の科学技術体験講座を開催する。	区内の研究開発設備及び関連教育機関を地域の資源として活用し、青少年（小・中学生、高校生）を対象とした科学技術体験講座を開催することにより、青少年の科学技術への関心や地域と当該施設との結びつきの強化を図る。
10	継続	さいわい動物愛護推進事業 （衛生課）	動物愛護のための講習会を2回実施する。啓発用冊子を2,000部発行する。	動物愛護思想の普及啓発を推進し、こどもたちの心に命の尊さを育む。また、動物の適正な飼育管理について普及啓発を行う。
11	拡張	地域資源を生かしたまちづくり事業 （生涯学習支援課）	地域の団体などが中心となって、団体の交流、環境学習、地域資源めぐりウォーキングを企画・実施し、ガイドスポット・標識の設置などを行う。	自然・環境・歴史・文化等の分野で活動している地域の団体などが、ネットワークをつくり、関係行政機関等と連携して、街資源を共有、活用した身近なまちづくりに取り組む。
12	継続	区の魅力づくり・魅力発信事業 （総務企画課）	市政だより区版で紹介している夢見ヶ崎動物公園の動物紹介や花の名所記事などのリメイクや新規記事が紹介できるよう「さいわいこどもページ」に幸区の見所（魅力発信）コーナーの作成や地域資源の活用を図る事業を実施する。	区内の地域資源を区民に知ってもらい、親しんでもらうとともに、幸区の魅力づくり・魅力発信を行う。
3 花と緑いっぱいのもちづくりを目指して				
13	継続	花と緑のさいわい事業 （地域振興課、建設センター）	公共花壇花植え事業、さいわい歩道橋緑化推進事業、緑化活動団体支援事業等を実施し、あおぞら花市を開催する。	区民が行う緑化運動や花と緑に関する事業を推進し、支援するとともに、道路等管理用地の一部（未利用地）を有効活用し、緑化意識の高揚と明るい区づくりを図る。

平成19年度 幸区協働推進事業計画（案）

No		事業名	事業概要	主旨・目的
4 区民に身近な区及び区役所を目指して				
14	継続	さいわいガイドマップ改訂・増刷事業（地域振興課）	平成14年度に作成した「さいわいガイドマップ」を現状に沿ったものに改訂する。12,000部発行。	転入者等に公共施設の一覧など、区の基本的な情報を提供し、幸区を知ってもらうとともに、区民の利便性を図る。
15	継続	区民に身近な区役所づくり推進事業（区民課）	転入者歓迎用の封筒を15,000部作成するとともに、区役所フロア案内を10,000部作成する。	窓口サービスの向上を図るとともに、来庁する区民が、身近に感じる区役所づくりを推進する。
16	継続	シンボルマーク普及事業（地域振興課）	幸区町内会対抗女子バレーボール大会や子ども会少年野球大会等の各種スポーツ大会で区長杯のレプリカを贈呈するとともに、シンボルマーク入りグッズを配布する。	幸区のイメージアップを進めるとともに、区への親しみ、愛着を育む一助とする。
17	継続	幸区情報発信推進事業（総務企画課）	区ホームページを視覚障害者に配慮したページに修正するとともに、分かりやすいページ作成が行えるよう、自治体広報についての研修会を実施する。	区における情報発信強化を目指し、ホームページを使った効果的な情報サービスの提供を行うとともに、使いやすさを向上するため、視覚障害者等も利用しやすいページにする。
18	継続	区民広聴の拡充事業（総務企画課）	区内全世帯に料金受取人払いがきを印刷したアンケート用紙を配布して、区行政などへの意見を募集する。併せて、区民会議の取組み状況などを広報する。	区民会議の取組などを周知し、併せて区民から意見を募集することで、今後の区政の展開に役立てる。
19	継続	区内ガイドサイン改訂事業（地域振興課）	市立商業高校前等に設置している周辺案内図を現状に沿った内容に改訂する。	区内のガイドサインを改訂し、適切な地域情報を提供するとともに、来庁者への案内、誘導に役立てる。
20	継続	保健福祉情報発信事業（地域保健福祉課）	「幸区役所保健福祉センターだより」を作成し、区内全世帯に配布する。	区民の生活に密着した保健福祉センターの業務を広報し、より多くの区民の利用を促進する。
21	新規	幸区データブック事業（総務企画課）	平成17年度国勢調査の結果を反映した人口、産業、土地利用などのデータ、歴史・文化・自然環境など幸区に関する状況を再整理した基礎資料を作成する。	地域の課題を発見して解決できる区役所づくりを進めるための基礎データを集約し、区民会議などにおける調査検討などに役立てる。
5 健康で安心な暮らしができる区づくりを目指して				
22	継続	安全・安心まちづくり普及啓発事業（地域振興課）	街頭、区民祭でチラシ及び啓発物を配布するとともに、ポスターを作成し、構成団体・町内会・自治会に掲示依頼する。	区民が、安全で安心して暮せるまちづくりを目指し、区民一人一人に、安全・安心に対する意識の高揚を呼びかける。
23	継続	交通安全の普及啓発事業（地域振興課）	自転車ハンドル用の反射板を配布するとともに、区内全小学校で開催されている交通安全教室で使用するLED電動信号機と横断用マットを購入する。	交通安全知識の高揚を図り、交通事故のない安全で住みよい幸区の実現のため、普及啓発事業を実施する。
24	継続	さいわい・健全で安全な食生活推進プロジェクト（地域保健福祉課、衛生課）	シンポジウムなどを開催するとともに、食品衛生上の注意点を掲載したリーフレットを2,000部作成する。	生涯にわたって健全な心身を培うため、食育を推進し、また、高齢者の食中毒予防を図るため、食品衛生の指導・啓発を行う。
25	継続	8020小学生啓発プロジェクト（地域保健福祉課）	小学生50人を対象に実習を兼ねた歯の健康教室を実施する。	歯の健康は全身の健康に影響を与えるのものであり、豊かな人生を送るための基礎となるものであることから、小学生に口腔の健康の重要性を啓発する。
26	拡張	こども総合支援推進事業（こども総合支援担当）	こども総合支援ネットワーク会議において、こどもの支援策を検討するとともに、地域子育て支援センターふるいちばを毎月第3土曜日に開所する。	平成18年度に設置した、こども総合支援ネットワーク会議の充実、拡大を図るため、中学生までを対象としたこどもの課題、支援策等を検討する。また、乳幼児の安全な遊び場の提供と父親の育児参加を支援する。
27	拡張	子育てフェア・情報発信事業（こども総合支援担当）	（仮称）幸区こども総合支援ネットワークの情報紙を10,000部発行するとともに、子育てフェアを実施する。	ネットワーク会議の情報や所属団体の情報等、区民ニーズに沿った話題を提供する。
28	継続	地域防災活動の推進（区民と共に災害を考える地域活動啓発）事業（総務企画課）	パネル展示、講演会開催などを通して、避難所運営訓練などの重要性を周知して、区民と共に地域の防災活動を考える啓発事業を行う。	地域の防災力を強化するとともに、区民に地域の防災活動への継続的な関心をもってもらい、活動への参加の重要性を啓発する。
6 その他				
29		共通経費	協働推進事業全般に係る事務経費	
30		まちづくり推進緊急対策事業	緊急的な事業に対応するための経費	